

ZEH推進協議会 運営委員会(第15回)

日時:平成31年5月21日(火)

15:00~17:00

場所:パナソニック汐留本社 会議室

参加委員:小山、布井、高橋、関・田代(EW 福岡・スカイプ参加)

司会進行:荒川

オブザーバー:西川・吉井(パナソニック)、加納(三菱電機)、阪田(リクシル)、
石川(YKK AP)、中村

欠席:真鼻、佐藤、澤崎、宇治田、筒井

※本誌事案は氏名の敬称略

議事次第

開会

1. 運営委員会 前回議事録の確認

2. 入退会報告(資料2)

- ・ 一般会員:2社。賛助会員:2社。年度代わりで退会が6社。全体の3%ほど退会があった。
- ・ 有料会員が退会する場合は、無料の情報会員(メルマガ会員)として残るように運用している。

3. 議題

(1)2018年の活動報告(資料3)

会員宛に各事業報告を6月末にする予定。

- ・ 各種委員会も開催し、軌道に乗っている。
- ・ セミナーの開催について ①普及啓発では ZEH 協主催 11 回、総数 520 名。賛助会員・自治体主催は 13 回、総数 2050 名。YKK 主催のセミナーが一番参加者が多い。②先導事業は 100 社ほどの参加まもなく 100 棟。事業延長を相談中。
- ・ その他 小山代表が ZEH 協名目で出席の会議は年間 10 回。書籍は、荒川さん、布井さん、高橋さんの協力で発刊。
- ・ メールマガジンは年間 49 回。小山代表の出張報告はオープンにして資料(別紙 4)添付済み。

- ・メルマガで活動報告する。ニュースリリース・別紙1・2・3について活動報告については一覧表にする。メディア記事も不要。資料4は運営委員会のみ公開。

4. セミナー実施報告及び開催計画

(1) 佐賀県クールチョイスセミナー アンケート結果報告(資料4)

- ・外部セミナーをした際は報告をしています。昨年は、青森県、高知県、熊本県、佐賀県で開催。

(2) 2018年度 ZEH+&LCCM 住宅視察研修会 アンケート報告(資料5)

- ・5回開催。合計約80名の参加。参加者はLCCM住宅の作り方はマスターしたはず。認知も上がったはず。

(3) 低・中層 ZEH-M 勉強会 アンケート報告(資料6)

- ・3月開催のZEH-Mアンケートビルダー参加は6、7社。1、2社はZEH-Mに取り組まれるとのこと。
- ・主要ビルダーも0にならない様に普及啓発をしていこうと思う。

5. 検討事項

- ・熊本県に「長野県の条例モデル」を提案中。長野県の条例: 施主の検討義務化 工務店に検討したか任意で求めるもので、ZEHの説明・検討義務化を要望。うまくいけば横展開も可能。
- ・裾野を広げるには、エネルギー会社、地方公共団体をいかに巻き込むかが重要。設計担当の主事がZEHになっているか否か、と確認する位にならないと次のフェーズに進まない。
- ・現段階では、ハウスメーカー・トップランナーの工務店が引っ張ってきた。この先は、賛助会員も応援していくが、販売促進としてエネルギー会社とも連携していくことが重要。
- ・普及啓発については、アーリーアダプター客層に響く。0円モデルを含め、日経トレンディ等のメディアで既築にも響く方の記事を掲載してもらおうと良い。卒FITと絡めて秋に特集組んでもらえるか提案。
- ・ZEHの認知度が低いので、燃費表示のインフラを作りたいとSUUMOは考えている。SUUMOは、BELS表示の準備もしている。また「1か月の光熱費はいくら？」という、SUUMO流の光熱費評価を消費者目線でやろうとしている。(国では無理なので)
- ・賃貸のZEHは人気があるが分譲はいまひとつ。賃貸は大東建託なども力入れている。

- ZEHの評価基準を作るなら、一般の施主目線で見えやすいものが良い。複層ガラス・高気密高断熱とあるが、トレンドは何だろう？
- YKKやLIXILが「ペアガラスは静かだから安心」など、HOMESとリクルートにお金払うからチェックボックスを作ってもらって検索できるようにすると良い。一緒に広告も出すと成功する。(ただし、ペアガラス=高断熱ではない。)
- SDGsでZEHを盛り込んでいけるように小山さんが動いている。ZEHをやっている人はSDGsと相性がいい。
- 1年程前に断念したJクレジットの件。「デジタルグリッド」と言う会社が、ブロックチェーンの技術を使って自家消費分の再エネ価値を自動化してJクレジット化する仕組みを環境省・みずほ総研とやっている。上手くいけば、ZEH協の会員さんと協力していきたい。荒川さんが検証中。
- JPEAがZEH協と連携したいと申し出あり。荒川さんが住宅部会の太陽光委員会にオブザーバーで参加。
- 明日、5/22に経済産業省へZEHの補助金の考え方について提言に伺う予定(荒川さん、加納さん、西川さん)野村総合研究所の水石さんと取りまとめ。
- 現時点では、2020年でZEHの補助金は終了する予定。環境省の普及啓発は続くが、経済産業省のZEH補助金は、2021年度になくなる可能性もある。9月の概算要求までに新しい考え方をまとめる必要がある。
- よって、ZEH協として提案する必要あり。野村総合研究所の水石さん、山名さん、秋元先生とも話をしている。太陽光発電委員会、高度エネマネ委員会で議論の内容を「ZEH推進に関する提言」としてまとめる。

「ZEH推進に関する提言」 提案書としては別紙。概略は以下の通り

- コストダウンの加速、FITからの脱却、長期安定的な事業の確保、地域との共生が大きな柱。
- 住宅でも大容量化、LCCM住宅、ソーラーガレージも含めて使っていくことを推進する必要あり。
- 国への要望は、「自家消費拡大と大容量ZEH(国際標準の1.5x1mの利用)」を切り口に補助金を作って貰いたいと提案。

- 付加価値を考えるとサブスクリプション(第三者所有モデル)を普及させていくしかない。地域コントロールするモデル前提(例:宮古島実証)で政策を作って欲しいと要望。
- これまで工務店がプレイヤーだったが、エネルギー事業者がプレイヤーになればプレイヤーが増える。
- 環境省には、地域循環共生圏型ZEHなどの政策を提案。地域循環共生圏を主体にしながら、ZEHも推進して貰いたいと考える。
- 多治見の例:産業は窯業。車を電気自動車にしながらトヨタと一緒にプリウスの中古を使って軽自動車を製作。また太陽光で窯業をする。リサイクル材料もプラントにする。これをZEHでもやる。
- 雲南市の例:固定資産税免除。Uターン・Iターンの人が長期優良住宅を建てる場合に免除。これと同じ仕組みをZEHでやる。
- PPA(太陽光設置者と居住者が電力供給契約を結ぶ)やTPO(第三者所有モデル)に補助金が出ると良いが、まずは方向性を委員会に掛けたら良い。方向としては、大容量9.90kWくらいがいい。第三者所有モデルが対象。地域循環の形に補助金を出して欲しい。
- エコキュートの昼間利用に関してメーカーも一枚岩じゃない。東名阪の電力会社は必要に迫られていない。昼間利用はしないとイケないし、評価は統一しないとイケない。ソーラーチャージ付帯のエコキュートが出てきている。(これはZEHの評価には含まれていない)
- 大容量のZEHのモデルに対して手厚い補助金を出して欲しいと提案。蓄電池を繋ぎ自家消費を推進。大変だからこそ、手厚く補助金を要求、提案する。
- 長期優良住宅で税金免除しているところを、ZEHにしていけたら大きい。
- 環境省の「第五次環境基本計画」の見直しのなかにZEHを入れてもらう為にどうしたらいいのか?
- ①太陽光と、②高度エネマネと、もう一つ委員会を作りたい。(毎年5月頃にもう一つ議論を持っていくために作りたい。例:高气密高断熱委員会など。議論する場を作る。)
- ZEH+の延長線上で、ZEH+の三要件を明確にしましょう。(高断熱は必須にするなど。)
- ZEH-Mの外皮については、ZEH-M+があっても良い。外断熱が悪くて内断熱が悪いという

話にはならない。

- Nearly ZEHが北海道などだけでなく、本州でもOKにすればいい。北海道に対する補助金は、細かいものにすればいい。
- 太陽光発電の不公平感は議論していない。地域区分は見直し検討か荒くする方向。きついのが緩くなるのではないかと懸念。
- 地域の方は、地域の有識者を集めてやるという方法はある。計算式は変えられないけど、評価の方法を変えることは可能だろう。制度に関しては、11月はまだ間に合う。SIIの意向で変わる。
- ZEH協の高度エネマネ委員会として、EVの利用が増えてきたのでアンケート取ろうと思っている。家と車の関係を取る記事調査。20社ほどヒアリング調査をした方が良い。座談会だと本音が聞けるだろう。

6. プロジェクトの進捗状況及び報告

(1) 新規取り組みビルダー応援企画 ZEH 補助金活用セミナー開催状況報告(資料7)

- 新規取り組みビルダー応援企画が進行中。230名参加。エコワークスが国交省の補助事業で、不適切な事例があり、以降このセミナーへの小山代表の登壇は自粛することになった。個別企業のセミナーも数か月自粛の予定。
- イエタス主催のセミナーがあると良い。昨年のセミナーでも質疑応答多く人気があった家タス主催で建産協がやるといい。
- 初めてZEHはどうなるか？5/21時点でまだ800枠残っている。去年は350枠。
- ZEHはじめてセミナーは、当初満席になると思っていた。各会場の建築事務所協会の半分ほどには電話した。建築士会は協力なし。協力頂いた団体のうち、2/3程は、無償で協力頂いた。
- ZEHをやるかやらないかの2極化が昨年から進んでいる。空気感をどう変えていくか？
- これまでそれなりにZEHが15%と盛り上がったけど、ひと段落したのか？今年次世代ポイントが注目を浴びている。手続き簡単でセミナーも多いので人が集まる。次世代ポイントとZEHは併用できない。
- ZEHに関しては、勉強のために1棟くらいやっておこうと思った人だけやっている。

次回は7月29日(月)10時から12時にパナソニック汐留本社で運営委員会を開催。

委員会は午後の予定。

7. 閉会